

決算特別委員会の模様をホームページで録画・録音配信しています！

市議会HP 議会中継 委員会録画・録音配信 決算特別委員会



自民党・市民クラブ

地元企業活用の推進

中央図書館の移転では、積極的に地元企業を活用すべきでは。

今後、具体的な作業内容を確定する中で、できるだけ地元企業の活用ができる手法を検討したい。

色覚特性のある児童生徒が色を識別しやすいチョークの導入状況は。

令和4年5月現在、黒板を使用している全ての市立学校で導入されている。子育て応援アプリ「母子モ」の活用



北九州市同様、本市でも「母子モ」で妊娠届の事前申請を受け付けては。

課題もあるが、利便性や母子モの導入率向上につながるため、関係課と連携の上、検討していく。

急増している梅毒への対策 患者の急増を受けて、普及啓発の強化、検査体制の拡充が必要ではないか。

無料・匿名検査の実施とともに、関係機関と連携し、若年層等への効果的な啓発を検討していきたい。

小学校の英語教育に変革を 早期からA2L2の生きた英語に触れる機会を充実させてはどうか。

児童が授業内外でALTと話す機会を設けるなど、小学校におけるALTの積極的な活用について検討する。

令和6年度からのバス運行ルートの変更の際、保護者の声を聞いたのか。

通学バスの発着場所を2つの校舎に分けて運行するコース設定は、保護者の意見も踏まえ検討したものである。

駐輪場対策を講じること 中筋・大町の駐輪場を拡張してほしいが、どうか。



中筋駐輪場

については収容能力の増強手法を、それぞれ検討していく。

都市計画画定道路の早期整備を 都市計画画定道路川の内線の進捗状況は。

橋りょう下部工10基のうち、9基の工事を行うとともに、JR可部線を跨ぐ橋桁の製作を行った。



川の内線工事現場

令和4年度は用地取得に取り組み、年度末時点の面積ベースの用地取得率は、約34%である。

都市計画画定道路中筋温品線(1工区)の進捗状況は。

令和4年度は用地取得や歩道工事に取り組み、年度末時点の面積ベースの用地取得率は、約86%である。

被爆体験継承 被爆体験証言者が市内で講話する際も、行政が謝礼金を負担すべきでは。

本市としても、同じ課題認識を有しており、令和6年度から、国の補助金も活用し、本市が負担する方向で考えている。

スポーツセンターの活用 利用が低迷しているスポーツセンターを無料開放してはどうか。

受益者負担の観点から使用料の全額免除は難しいが、利用者数は回復傾向にあり、引き続き利用促進に取り組む。

消防団員の訓練の在り方 若い消防団員確保のため、より実践的な訓練に取り組んでどうか。



やりがいをもって消防団活動に臨めるよう、総合的な火災防衛訓練など実践的な訓練に取り組む。

令和5年度以降の整備見通しはどうか。

令和6年度に2車庫の耐震化工事着手に向け調整を進めており、完了後は団活動に支障をきたさないよう、計画的な建て替えを行いたい。



市民連合・市民の声

公共施設の有効活用

公民館の予約が入っていない空き部屋を学生の自習室として開放してはどうか。



業務体制等を考慮する必要があるため、利用者にとどの程度のニーズがあるかも見極めながら、対応を検討していきたい。

子ども図書館のリニューアル

乳幼児も楽しめるような施設整備をしてほしいが、どう考えているか。

子どもたちが豊かな心を育むさまざまな本と出会う場の充実を図り、未就園児も含め、読書を楽しめる場にしたと考えている。

臨時財政対策債制度は廃止すべき 同制度の廃止に向けて、積極的に対応すべきだがどうか。

指定都市要望などの機会を捉え、速やかに廃止するよう要望を行っている。継続して国に求めていくことが重要と考えている。

ひろしま公式観光サイトの活用

安芸区の観光スポットを周遊するモデルコースを新たに開発してはどうか。

安芸区とも連携しながら観光資源を活用した新たなモデルコースの開発を進めていく。

取り組む。ごみの減量化の目標達成を 目標達成に向けて、今後、どう取り組むのか。

ごみの減量・リサイクルを推進するさまざまな施策を進めるとともに、より分かりやすい周知・啓発を行う。

子ども医療費補助制度の拡充 他都市で補助の拡充が進む中、本市も所得制限を撤廃すべきではないか。

公平性に留意して設定しているところであるが、他都市の動向などを踏まえ検討する。

トイレまで誘導する表示 公共施設内のトイレまでの誘導表示は分かりやすいものになっているか。

公共施設整備基準により、標示物はピクトグラム等による分かりやすい表示や見やすい位置とする配慮を行っている。



被爆体験の継承・伝承事業 被爆体験伝承者や家族伝承者の養成事業は成果が上がっているのか。

これまで、被爆体験伝承者を209名、家族伝承者を16名養成し、多くの方に伝承講話を聴講いただき、「ヒロシマの心」を伝えている。

公明党

「書かない窓口」の推進 マイナンバーカードを使った「書かない窓口」の検討状況は。

マイナンバーカード等から住所、氏名等の情報を読み取り、申請書に印字するシステムの導入を検討している。



平和意識の醸成にデジタル技術を活用 平和への取り組みを充実させるため、AIやVR技術を活用してはどうか。

現在、被爆体験継承の取り組みに、VRも活用しており、今後、新たにAIなどのデジタル技術の活用を検討を進めていく。

有害鳥獣被害に有効な対策を 令和5年度に新設した担当部署では、どのような対策に取り組むのか。

有害鳥獣被害を災害と捉え、従前より踏み込んだ対策を行い、安心して営農が継続できる環境づくりにつなげる。

資源ごみ持ち去り行為への対応を 資源ごみの持ち去り行為を条例で禁止したが、取り組み状況とその成果は。

持ち去り禁止看板の作成や持ち去り防止パトロール等を行った結果、行為の件数が大幅に減少している。

公立保育園等のICT化 公立保育園では、具体的にどのような形でICTが推進されたのか。

保育システムの導入により、紙媒体・手作業で行っていた業務をタブレット端末で行うこと等ができるようになった。



児童生徒が自宅で教育を受けられるような取り組みを行っているのか。

ICTを活用し個々の児童生徒の状況に応じた学習支援等を行っている。

女性防災士を対象とした研修 避難所運営等には女性視点も重要。参画意識を高める研修をすべきでは。

地域で活躍している女性防災士の意見を伺いながら、効果的な研修となるように研修内容を検討していく。

水道事業の支出抑制の取り組み 人工衛星とAIを活用した水道管の漏水調査を行い経費削減につなげては。

漏水調査について、革新的な技術の動向や他都市の導入事例に関する調査研究を行い、効果が見込まれるものは導入を検討していきたい。

